

国際会議に参加して

情報工学府情報システム専攻M2 浜辺 竜馬



はじめに

平成24年7月16日～19日にアメリカのネバダ州ラスベガスで開催された国際会議 International Conference on Foundations of Computer Science (2012 FCS) に参加し、研究発表を行いました。

研究内容

私の所属する研究室ではナチュラルコンピューティングに関する研究を行っています。ナチュラルコンピューティングとは自然界の様々な生命活動の仕組みを用いて計算に利用しようという研究分野です。

現在のトランジスタ等を用いた電子回路による一般的なコンピュータでは回路をこれ以上細かくすることが困難となりつつあり、理論的境界に近づいております。そのためこれまでのような性能向上が見込めないことがわかっております。そこで、この性能向上の限界を打ち破るために現在のコンピュータとは全く異なった方式で計算を実行する方法の研究が行われており、そのひとつがナチュラルコンピューティングという分野になります。

私はナチュラルコンピューティングの中でもSNNシステムと呼ばれる生物の神経細胞を基とした計算モデルに着目し、そのモデル上で動作する計算システムの提案を行っております。

海外にて

ラスベガスは日中40℃を超える砂漠地帯であり、日本では考えられない

い暑さでこまめな水分補給が必要でした。しかし、湿度は10%以下と非常に乾燥しているため、汗はあまりかかず、それほど不快ではないのが印象的でした。カジノを主要産業とした観光都市であるため、大きな建物が多く並び、世界各国からの観光客がおり、昼夜を問わず賑やかな街で、まさに「眠らない街」と呼ばれるに相応しい様相を呈していました。

国際会議にて

私の発表した会場は小さく、席も15人分程度しか準備されていませんでした。しかし、いざ発表が始まるとどんどん人が増えて、部屋に入りきれないほどの人数になりました。少し緊張もしましたが、私の前には私と同じように日本人の学生が発表しており、堂々と発表していたため私も負けまいと、しっかりと練習通り、あわてず落ち着いて発表しました。発表の後に基本的な質問を受けましたが、なんとか英語で回答することが出来ました。

初めて国際会議に参加し多くの聴衆の前で英語発表をするという貴重な体験ができました。国際会議に参

加するための準備は非常に大変でしたが、終わってみるとあつという間で、次はもっといい発表にしたいという次へのモチベーションが出てくるのを強く感じました。

最後に

まず、私の研究や論文執筆、発表を行うにあたり、適切な指導並びに助言を与えて下さいました藤原准教授に心から感謝致します。

また、日頃から私の心配をし、大きな支援を送ってくれた両親に感謝したいと思います。本当にありがとうございました。



有名ホテル「ベラージオ」の噴水ショー